



## 節気について

校長 嶋貫 研一

昨年の学校便りの2月号で、2月という月の不思議について述べました。今回も、2月にかかわる話をしたいと思います。

### 【2月3日 節分】

節分というのは二十四節気の前日を指しますが、旧暦（旧暦の12月2日を新暦の1月1日とした）では、立春の頃が一年の始めとされ、最も重要視されていましたので、節分といえば、一般的に立春の前の日を示すようになったそうです。

よって、立春を新年とすると、節分は大晦日にあたります。そのため、現在でも節分のことを「年越し」という地方もあります。節分に行われる豆まきは、追儺（ついな）という宮中行事と寺社が邪気を祓うために節分に行っていた豆打ちの儀式が合わさったものといわれているそうです。

### 【恵方巻き】

節分の日に、その年の恵方を向いて太巻きを食べるという風習は、関西から始まったようですが、私のふるさと山形ではありませんでした。最近のことでしょうか。

元々は、大阪の海苔問屋協同組合が節分のイベントとして行ったのをマスコミが取り上げたのをきっかけに広まったものだとかいわれています。

福を巻き込む→巻き寿司。 福を切らない→包丁を入れない。

一種の縁起かつぎのようで、食べ終わるまで話をしていけないのだそうです。

### 【2月4日 立春】

先ほど述べましたが、この日は旧暦の正月の節で、立春が一年の始めとされ、決まり事や季節の節目はこの日が起点になっています。そこで皆さんもよく知っている「八十八夜」とか「二百十日」は立春から数えます。

歌詞の～夏も近づく「八十八夜」～の「八十八」は「米」という漢字を分解したものです。立春から88日目は5月2日で、その頃が田植えの時期ですよということで、農作業に深くかかわっています。

では「二百十日」は農業にとってどんな日なのでしょう。立春から210日は9月1日頃です。ちょうどこの頃は稲が開花し結実する大事な時期ですが、また台風の時期とも重なっていて農作物が被害を受けてしまうことがよくあります。そこで、農業にとって注意しなければならない日とされています。

### 【2月19日 雨水】

空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になる、という意味です。草木が芽生える頃で、昔から、農耕の準備を始める目安とされてきましたがやはり1月遅れで考えなければなりません。立春から春分の間初めて吹く強い南風を「春一番」といいますが、春一番が吹くのもこの頃だそうです。

しかし、本格的な春の訪れにはまだ遠く、大雪が降ったりします。三寒四温を繰り返しながら、春に向かっていきます。

今、平中では風邪がはやっています。節分には豆を蒔いて風邪という邪気を祓ってほしいと思います。

毎年、神林地区では「文集かみはやし」を発行しています。平林中学校では、全校生徒が書いた意見文の中から各学年1名を選出しております。たいへん力作揃いですので保護者の方にも読んで頂きたく掲載いたしました。どうぞ、ご覧下さい。



## 「支えてくれている人の大切さ」

1年 奈良橋 美唯菜さん

あなたは、自分を支えてくれている人の大切さを考えたことがありますか。あなたのことをどれくらいの方が支えてくれているのでしょうか。あなたのことを支えてくれている人は、必ずどこかにいるはずです。中学生になってから、新たに部活動というものが始まり、その中で私はたくさんの方々に支えられていることを知り、そうした方々の大切さを今まで以上に感じるできるようになりました。

中学校入学後、部活動を選ぶ場面がありました。私は「何部に入ろうか。」と考えたとき、小学校から続けてきたバスケットボールを続けたいと思いました。しかし、平林中学校には女子バスケットボール部がありませんでした。そんなとき、私のような生徒の気持ちを理解してくださった方々が、部活として活動する場を作ってくれたのです。それは学校ではなく、NPO法人の希楽々でバスケットボールをするというものでした。

他の部活動は、終学活が終わった後ランニングをして、学校で部活動という形で活動していますが、私たちは放課後、総合体育館へ移動して女子バスケットボール部の活動を行っています。

本当なら、中学校でこのようにバスケットボールをすることはできませんでしたが、活動する場所を作ってくださった希楽々の方々や、ミニバスから引き続き指導してくださる監督やコーチなど、たくさんの方々の働きかけで、たくさんの方が支えてくれているおかげで、バスケットボールを続けることができます。

また、大人ばかりでなく、先輩方や仲間にも支えられています。先輩方が努力してきた成果が今、このような形で実を結び、部として活動できるようになったともいえると思います。先輩からは、技術面だけでなく礼儀や声を出すことなど、たくさんの方々のことを学びました。チームの一年生とは、悩んでいるときに相談にのってもらったり、きつい練習のときは励まし合ったりと、みんなの支えがあって成り立っていると思います。

でも、私たちが「バスケットボール部」として練習し、大きな大会や試合などに参加させてもらって、活動できるようになった一方で、サッカーやテニスなど部活動として認められていないものは、たくさんあります。だから、もしかしたら、「バスケばかりずるい。」と言う人や、「不公平だ。」と思う人もいるかもしれません。だから私は、たくさんの方々に支えられて、たくさんの方々のおかげで、活動できる場所を作ってもらったり、バスケットボール部として大会に出場させてもらったりしているその分、苦しいときもつらいと

きも諦めずに、やりたくてもできない人の分まで頑張らなければいけないと思います。そして、決して「当たり前のこと」と思わず、取り組んでいこうと思います。

このように、私はたくさんの方の支えがあって、たくさんの方のおかげで大好きなバスケットボールをすることができています。

これからは、支えてくれている方々や応援してくれている方々への感謝の気持ちをもって、コートに立ちたいです。また、感謝する気持ちを言葉で表すことも大切ですが、その気持ちをプレーで示すことも大切だと思います。だから私は、仲間を敬い、相手を敬い、そして支えてくれる全ての人に感謝しながら、全力でプレーできるような選手になりたいです。

## 「自然豊かな故郷」

2年 石田 貫汰さん



みなさんは自分の故郷の自然を大切にしていますか。

僕たちの住んでいる新潟県村上市は、市のおよそ九割弱が木や花などの植物、つまり自然なのだそうです。そんな村上市に、僕は五歳の時に引っ越してきました。初めて村上市に来たときのことは、今でも鮮明に覚えています。四季折々に咲く花や、季節ごとに変わる木々の姿は、都会では見ることでできない美しさでした。

今、この地球では温暖化がどんどん深刻化しています。専門家による調査の結果、森林伐採などの環境破壊が原因の一つとして取り上げられ、大きな問題になっています。

森林の伐採は、切った木材を僕たちの生活に役立てているという点で見れば、素晴らしいことです。しかし、木が減るにつれ、二酸化炭素の吸収源が減っていき、その結果として大気中の二酸化炭素が増加していくのです。そして、それによって、地球の温暖化は、どんどん進行しているのです。そんな問題に対して、村上市はどのような取組をしているのでしょうか。僕は調べてみました。

村上市は、地球温暖化対策として、緑化の推進を行っています。森林公園や都市公園の整備・管理を通じて緑化を推進したり、並木の植栽や壁面緑化、緑のカーテンなどを用いた緑豊かな生活空間を作るのほか、花壇やプランターを利用した身近な緑化を推進しています。しかし、これだけ素晴らしい活動をしていながら、残念なことに、その意識はまだ若い世代には浸透していないのではないのでしょうか。現に、村上市がこういった活動をしていることを、僕の友だちの大半が知らなかったのです。市の活動に僕たちのような若者が協力することはできませんが、同じ意識をもって、僕たちにもできることが身近にあるはずですよ。

僕が通う平林中学校では、生徒会を中心に「緑の募金」を全校のみんなと協力して行っています。地域のコンビニの花壇に花を植える、「花いっぱい運動」も行っています。僕は平林中学校に入学してから、これらの活動を体験して、地域に貢献しているのもそうですが、自然を大事にしているというのがとても良いことだと思いました。僕自身、平林中学校に入学してから、身近な自然に対して見方が変わったと思います。小さい頃の自分は、伐採されて土がむき出しになった村上市の山の斜面を見ても、特に何も感じませんでした。つまり、自然の大切さをまったくわかっていなかったのです。でも、今回調べてみて、自然の大切さを改めて知ることができました。これからも平林中学校の活動を通して自然を

守り、そしてその大切さを他の生徒や地域に伝えていきたいです。

いつも身近にある植物は、これからの将来、自分たちが生活するため、そして生きていくために必要になると思います。徐々に悪化する地球温暖化を少しでもくい止めるためにも、自分たちができることはしっかりやっていき、地域の活動にも積極的に取り組もうと思っています。みなさんも、大切な故郷、大切な地球を守るためにも、みんなでやれることをやっていきましょう。自然を大切にすることは決して難しいことではないはずです。地球を、そしてこの緑豊かな故郷村上市を守るのは、僕たちです。

## 「部活動から学んだこと」

3年 高野 光佑さん

「日常生活をしっかりしろ。」

僕が所属しているバスケットボール部顧問の先生が、よく口にする言葉です。

僕が、初めてこの言葉を聞いたときは、特になんとも感じませんでした。先生が何のためにこの言葉を言われたのか、自分たちに何を伝えたいのか、それを考えてみようともしませんでした。

そのとき、僕はレギュラーではなく交代要員でした。レギュラーになりたいと思って、バスケットボールの技能を高めることだけを考えながら頑張っていました。どうしてもレギュラーになりたい……という強い気持ちがありました。しかし、なかなかレギュラーになることはできませんでした。そのうち、「中学校に入ってからバスケットボールを始めた自分は、レギュラーになるのは無理なのかもしれない」というあきらめにも似た気持ちが胸をよぎるようにもなりました。また、バスケットボールの練習ばかりに熱中していたために、勉強の方も伸び悩み、テストの点数は自分の目標には程遠く、納得いく結果が出せずにいました。ストレスがたまり、何に対しても嫌気がさしてイライラする日々が続きました。

そんなとき、先生の言われたあの言葉を思い出しました。「日常生活をしっかりしろ。」というあの言葉です。このままでは何も変わらないことは分かっていたので、バスケットボールはいったん心の隅に置き、日常生活をしっかりすることに専念することにしました。

僕は、日常生活において、大きく次の三つのことについて努力しました。一つ目は、何事にも積極的に取り組むことです。今まで、バスケットボールにしか力を入れていなかったのが、他のことにも精一杯取り組むようにしました。授業時に手を挙げて発言したり、あいさつをしたりするのはもちろん、友達や後輩など周りの人たちとの日常会話もたくさんするよう心がけました。何事も積極的にやることで、みんなから信頼されるようになり、たくさん話しかけられるようになりました。そうすると、バスケットボールでもパスをもらう回数が増え、得点を数多く決めることができるようになっていきました。

二つ目は、勉強です。テストで納得できない点数ばかり取っていたので、とにかく復習に力を入れることにしました。すると、だんだん授業にも集中できるようになっていきました。また、ワークや課題の提出なども期限を守り、やるべきことを面倒くさげずにきちんとやるようにしました。勉強を頑張ることで、だんだん自分に自信がもてるようになり、先生方からも努力を認められ、「よく頑張っているね。」などとたくさん励ましの言葉をかけられるようになり、信頼されるようになりました。

三つ目は、何事もあきらめないことです。今まで、自分で勝手に限界を決め、途中であ



きらめていたことが多かったので、小さなことでもけしてあきらめないようにしました。毎日のランニングで速い人に必死についていたり、毎日朝早く学校に来て、シュートを打つ練習をしたりしました。しだいに自分の中に「あきらめない精神」が身につき、バスケットボールのプレー中に転がっているボールがあると、誰よりも速く飛び付くようになっていました。

この三つのことが功を奏し、僕はついにレギュラーになることができました。僕はこのとき、顧問の先生のおっしゃった「日常生活をしっかりとしろ。」という言葉の意味を、やっと本当に理解できたように思いました。日常生活をしっかりとすることで、レギュラーを取れただけでなく、周りから信頼されるようになり、いろいろなことが全てプラスの方向に動いていったからです。

なぜそうなるのか。僕はまだうまく説明することはできません。しかし、日常生活をしっかりとすることは、必ず成功へとつながります。それは、身をもって自分が実感したから断言できることです。そういえば、プロスポーツ選手や一流アスリートの談話の中でも、日常生活をしっかりとしているというコメントやエピソードを耳にすることがあります。以前の僕は、そんなエピソードに関心をもつことができませんでした。今なら心から共感することができます。日常生活がしっかりとしていたからこそ、プロや一流にまで登りつめることができたに違いないと思うからです。

バスケットボールなどのスポーツだけでなく、さまざまな分野で自分の技能が伸び悩んでいるということを感じている人たちに、僕はこうアドバイスしたいです。「日常生活を変えてごらん。気がつくと見える世界が変わるから。必ず変わるから。」と。

## 生徒会役員決定！【1月10日：立ち合い演説会より】

ぼくが生徒会長になったら、今以上に活気あふれる、笑顔でいっぱい为学校を作ります。そのために、今年度以上に全校生徒が交流する機会を増やしたいです。また、今まで平中で取り組んできたエコキャップ運動や募金活動を、今年度も行っていくと共に、新しいことにもチャレンジしたいです。

みなさんから頼られる会長になれるよう、精一杯、頑張ります。よろしくお願ひします。

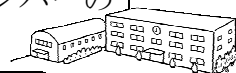
**【生徒会長：2年1組 石田貴汰さん】**

ぼくが副会長になったら、先輩達の築いた伝統を、しっかりと受け継いで行動する生徒会を目指します。平中の元気な挨拶や、行事への真剣な取り組みが持続できるよう、積極的に行事などの企画・運営に携わり、全校生徒のみなさんに学校生活を楽しんでもらいたいと思います。

先輩達の想いを受け継ぎ、全校生徒のみなさんから「最高！」と言ってもらえる平中にしていこう、精一杯頑張ります。

**【副会長：2年1組 関 優太さん】**

私が副会長になったら、あいさつが絶えない平中、そして全校生徒のみなさんが、毎日、楽しく過ごすことのできる平中を目指していきたくたいです。また、執行部の他のメンバーの皆さんを、しっかりと支えていきたくたいと思います。



よりよい平中を作るために、精一杯、努めていきます。一票を、よろしくお願いします。

**【副会長：1年1組 山口 未優さん】**

ぼくが書記長になったら、全校朝会や行事の司会はもちろんのこと、執行部の一員として、あらゆる仕事を全力で果たしていきたくと思います。

全校生徒のみなさんが、今まで以上に平中生であることを誇りに感じられる学校を築いていきたいです。よろしくお願いします。

**【書記長：2年1組 加藤 和由季さん】**

ぼくが副書記長になったら、平中のシンボルともいえる、あいさつ運動を頑張りたいです。また、執行部の皆さん、そして全校生徒の皆さんの役に立てる活動をしたいと思えます。

エコキャップ運動など、人々のためになる活動にも、取り組んでいきたいです。どうぞ、よろしくお願いします。

**【副書記長：1年1組 川村 龍弥さん】**

ぼくが応援団長になったら、笑顔あふれる学校にしていきたいです。また、全校生徒のみなさんが、毎日、充実した学校生活を送ることができるよう、行事の企画・運営に力を入れて活動を行っていきたくと思います。

みなさんの期待に応えられるよう、そして、平中が今以上にすばらしい学校になるよう、何事にも全力で取り組みます。よろしくお願いします。

**【応援団長：2年1組 須貝 大希さん】**

## 今月の、「頑張りました！」



岩船郡村上市女子バレーボール1年生大会

優勝

### 2月から3月までの予定

月	曜日	おもな行事(予定)
2月	4日(火)	3年生第4回定期テスト【～5日(水)】
	12日(水)	平林中学校区家庭学習強調週間【～18日(火)】
	14日(金)	公立高校推薦入試
	18日(火)	新入学生保護者説明会
3月	18日(火)	1・2年生第4回定期テスト【～19日(水)】
	6日(木)	3年生同窓会入会式
	7日(金)	第67回卒業式
	11日(火)	公立高校一般入試
	12日(水)	1・2年生期末保護者会
	13日(木)	公立高校一般入試合格発表
	24日(月)	終業式・公立高校2次入試・PTA会計監査
	25日(火)	公立高校2次入試合格発表
26日(水)	離任式	

